



無病息災を願って五百年 江迎千灯籠まつり 水掛け地蔵まつり

子どもの無病息災を願い毎年8月23日、24日に開催される江迎千灯籠まつり。約500年の歴史があるこの祭りでは、昼は「水掛け地蔵まつり」が、夜は「千灯籠まつり」「ゆかたの女王コンテスト」や花火の打ち上げが行われます。

水掛け地蔵まつりでは、みこしに乗せた木彫りのお地蔵様を地元の高校生が担ぎ寿福寺から嘉例川へ向かいます。川に入ると多くの子どもたちが周りを取り囲み、お地蔵様へ元気に水を掛けます。その後子どもたちは約2時間かけて江迎の町を練り歩き、町の人たちは子どもたちに水を掛けながら無病息災を祈願します。

ゆかたの女王コンテストでは30人の参加者がそれぞれ浴衣の柄や帯結びなどを披露し、グランプリには松浦市の荒木こなみさんが選ばれました。荒木さんは来年の千灯籠まつりまでの1年間、江迎の観光大使としてイベントなどで江迎のPRをしていただきます。そのほか、ゆかたのコンテストには

ジュニアの部や男性の部などもあり、会場は大いに盛り上がりを見せていました。

1 嘉例川でみこしに水を掛ける子どもたち **2** 木彫りのお地蔵様 **3** **4** 通りで水を掛けられる子どもたち **5** お地蔵様をモチーフにした手描きの灯籠 **6** 祭りを美しく彩る打ち上げ花火 **7** ゆかたの女王グランプリに輝いた荒木さん **8** ゆかたのコンテスト男性の部優勝者 **9** ゆかたのコンテストジュニアの部優勝者

